

21世紀の「くろさき」はどうあるべきさか

「黒崎市民会議」を設立します

参加に資格は必要ありません。あなたも

黒崎青年会議所

昨年3月、新生黒崎の象徴として「黒崎青年会議所」が誕生いたしました。早いもので一年六か月が経過いたしました。

この間、青年会議所運動も積極的に展開され、J.Cの目標である「明るい豊かな社会」の創造に向かってまい進いたしております。このことは今いる所から歩き出さなくては永遠に到達できないものであります。

これからのまちづくりについても、わたしたち自身の問題として、自分たちのまちをどうするかについて論じ合い、共通の意識を持ち自らも責任をもつ体制を作っていくことが大切であると思っております。

こういう機能を果たす場として黒崎青年会議所では、「黒崎市民会議」を提唱しております。

「二十一世紀の黒崎はどうあるべきか」をターゲットにすえ、教育・文化・産業・都市設計などの中からテーマを選定し、問題意識を持ち愛するまちを主体的に作り上げ、明るい豊かな社会作り貢献しようと思っております。

自分たちのまちを、原点に帰り、見直し、新しい時代の流れに対応させていくため、市民は今何が問題で何を処置しなければならぬかを知らなければならぬのです。そのために自分たちの住む都市をじっくり知り、かつ今後の歩むべき道筋を青図に投影させていかなければ

ばなりません。

わたしたちは自発的発想に基いた提言を行いつつ、行政の力と相利しながら都市作りに参加していこうと考えます。

「黒崎市民会議」は時代的要請といってもよいでしょう。新たな時代を考えつつ既存のものを見直す時代に変わってきました。今日まで乗り続けてきた歴史の流れに

何を残し、何を捨て、何を活用し、何を加えていくかの判断をしようとしているのであります。

市民とともに活力ある生活環境を創造すべく発想の転換をしなければなりません。これは次代に普遍的な価値ある財産を残していくためでもあります。

有意義な考えをもつかたがたからお集まりいただき、二十一世紀を展望したビジョンを策定し広く提言しようではありませんか。

「黒崎市民会議」設立世話人

代表 大谷一男 7-22276

畠山正樹 9-22252

丸山 武 0252-6615770

山際淳一 7-5348

山際輝充 7-26677

志賀 勝 8-76667

事務局：黒崎青年会議所社会開発委員会 7-3155

今月の表紙



祭りの主役はやはり人である。ひとりひとりという祭りは比較にならないほど宣伝に力を入れた。その甲斐あつてかかなりの町民に参加していただけたようだ。祭りは人が作る。準備する人。待つ人。見る人。踊る人。疲れた人。ただ通り過ぎた人。編集子は写真撮る人になつて、そういう人たちを撮らせてもらった。今号の表紙に紹介させていたのは四十人弱で、撮影の約半分である。勝手に掲載したことをご諒解ください。なお、写真がほしいかたはご連絡ください。無料で差し上げます。

皆さんも「まちづくり」という言葉を聞かれると思いますが、黒崎町でもさまざまな形でまちづくりを考えています。しかし、まちづくりは行政の力だけでは不十分です。逆に言えば行政の外から自分たちの住む町を考え、よりよくしようと行動することがまちづくりでもあるのです。青年会議所がこのページで紹介したようにまちづくりの先頭に立ちたいと思っています。ぜひ皆さんも一緒に考え行動してみませんか。たとえ参加しなくても自分一人でも考えたり何かしたりしてはいかがでしょう。

「街かど」連載以来3年目にして初めて休みました。投稿がないわけではなく、少し変えてみたいなど思ったからです。